

早稲田大学 スポーツ科学研究科  
修士課程（2年制） 入試問題の訂正内容

<2022年度 一般入試（春期）>

【一般科目】

●問題冊子5ページ : IV 問題文3行目

（誤）

このうち太い繊維である(32)ファイバーの構造の違いから、2種類の筋繊維タイプに分類することができる。

（正）

構造の違いから、2種類の筋繊維タイプに分類することができる。このうち太い繊維は(32)ファイバーと呼ばれる。

以上

## 2022年度 修士課程入学試験（春期）

### 試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

---

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

必ず記号で解答すること。記述にて解答した場合は採点されません。

---

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

メディアは試合などをそっくりそのまま伝えることはもちろんできない。メディアが伝えるのは（ 1 ）に過ぎない。

ア. 嘘            イ. 推測            ウ. 断片            エ. 要約

【問題2】

キラニンIOC会長のもと、（ 2 ）年のIOC総会で、オリンピック憲章からアマチュア規定が削除された。

ア. 1934            イ. 1964            ウ. 1974            エ. 1994

【問題3】

1970年代のバリ島は、（ 3 ）の時代を迎える。

ア. 伝統芸能            イ. ケチャ            ウ. マリン・スポーツ            エ. マス・ツーリズム

【問題4】

（ 4 ）のイデオロギーは、男性と女性のあるべき姿を規定するため、スポーツのあり方に大きな影響を与える。

ア. マイノリティ            イ. アイデンティティ            ウ. ジェンダー            エ. セクシュアリティ

【問題5】

1873年、ホーラス・ウィルソンは日本人に初めて（ 5 ）を紹介したといわれる。

ア. サッカー            イ. バドミントン            ウ. 野球            エ. ラグビー

【問題6】

武道の精神論には（ 6 ）的精神性と武士道的精神性の二つの領域がある。

ア. 芸道            イ. スポーツ            ウ. 舞踊            エ. 礼儀

【問題7】

学習成果が上がっている「よい体育授業」では、学習時間を十分に確保するための効果的なマネジメントや（ 7 ）などの授業の周縁的条件が整っている。

ア. 学習の規律    イ. 教材    ウ. 指導法    エ. モニタリング

【問題8】

18世紀以降、近代スポーツはイギリスの（ 8 ）という学校で醸成されたといわれる。

ア. コレッジ    イ. パブリックスクール    ウ. プライベートスクール  
エ. ユニバーシティ

【問題9】

近代スポーツの競争志向に対するアンチという意味を込められた新しいタイプのスポーツを（ 9 ）という。

ア. アダプテッドスポーツ    イ. イノベーションスポーツ    ウ. eスポーツ  
エ. ニュースポーツ

【問題10】

戦前の体育は、「身体の教育」と「精神の教育」の2つの柱に分類できるが、ここでいう「身体の教育」とは（ 10 ）に奉仕する臣民の形成を身体的側面から可能にするものだった。

ア. アスレティシズム    イ. エリート階級養成    ウ. 国家的ミリタリズム  
エ. デカルト的二元論

## II.

各設問の ( 11 ) から ( 20 ) にあてはまるものを、各問の下の枠内の語群の中から1つずつ選んで、その記号を回答欄に記入しなさい。

### 【問題1】

下枠内のア～エは、古い順に ( 11 ) ( 12 ) ( 13 ) ( 14 ) である。

ア. 大相撲、ラジオ実況放送はじまる      イ. ロサンゼルス五輪で独占放送権制度が設けられる  
ウ. 媒体別広告費の中でウェブ広告費がテレビに次いで2位になる      エ. 月刊ベースボール 創刊

### 【問題2】

下枠内のオ～クは、古い順に ( 15 ) ( 16 ) ( 17 ) ( 18 ) である。

オ. 四国アイランドリーグ創設      カ. 日本プロ野球選手会が労働組合として認定される  
キ. バブル崩壊      ク. 東北楽天イーグルスがNPBに加盟

### 【問題3】

スポーツツーリズムは「参加型」「( 19 ) 型」「関連施設型」に大別することができる。またギャロモンとロビンソンは、スポーツツーリズムの中で競技スポーツへの参加が第一目的でないものを狭義のスポーツツーリズムと区別して ( 20 ) と名づけた。

ケ. 応援      コ. 観戦      サ. ついで      シ. イベント  
ス. スポーツホリデイ      セ. スポーツバカンス      ソ. ツーリズムスポーツ

### Ⅲ.

以下の（ 21 ）から（ 30 ）の問いに対して、正しいものには「ア」を、誤っているものには「イ」を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- （ 21 ）身体運動の中でも高強度の運動を持続的に行うことは、血液粘ちよう度低下、血管抵抗低下をもたらし、高血圧症予防につながる。
- （ 22 ）運動によって血中で最もよく変動する白血球はナチュラルキラー（NK）細胞である。
- （ 23 ）筋肉や骨の重量が最も増える時期は、身長が最も伸びる時期よりも早いことがわかっている。
- （ 24 ）スポーツ後に見られる赤褐色尿のうち、ミオグロビン尿は激しい運動によって筋肉中のミオグロビンが血液中に流出し、尿中に混入したものである。
- （ 25 ）筋・腱の骨付着部に起こる牽引性障害の中でも、手根屈筋の牽引力による上腕骨外上顆炎はテニス肘と呼ばれている。
- （ 26 ）捻挫とは関節に生理的範囲を超える外力が加わることで、関節を構成する靭帯や関節包が損傷する現象をいう。
- （ 27 ）スポーツパフォーマンスは、体内時計、体温など生体リズムにより影響を受けないことが分かっている。
- （ 28 ）メッツ（METs）とは身体活動の強さの単位で、安静時を1とした時と比較して何倍に相当するかを表す単位である。
- （ 29 ）リコンディショニングとは、筋力、スピード、バランス、持久力など、体力要素を改善させることである。
- （ 30 ）トレーナーがリコンディショニングや、外傷・障害予防のためのコンディショニングを行うにあたっては、医師と連携を取りながら行うことが重要である。

IV.

以下の空欄 ( 31 ) から ( 40 ) に当てはまるものを、語群 ア. から モ. のなかから1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

骨格筋は数百本の筋細胞が集まった筋束を束ねたものである。筋細胞は、直径約  $0.1\mu\text{m}$  ほどの ( 31 ) という構造が直列に並んだものである。( 31 ) は2種類のタンパク質から構成される。このうち太い線維である ( 32 ) ファイバーの構造の違いから、2種類の筋線維タイプに分類することができる。

筋の収縮様式には、筋の長さを変えない ( 33 ) 収縮、筋が短縮しながら収縮する ( 34 ) 収縮、筋が外力によって伸ばされながらの収縮、の3つがある。

$\alpha$ 運動神経は ( 35 ) から骨格筋に情報を伝達して、筋収縮を起こす。

運動の制御は中枢神経系によって行われる。大脳皮質運動野に加え、運動記憶があり運動学習を司る ( 36 ) や大脳基底核などからの情報も重要である。これらの制御には、様々な感覚情報が必要である。身体や筋の動きによって生じる感覚である ( 37 ) もその1つである。

運動を長時間継続するためには、( 38 ) 的にアデノシン3リン酸 (ATP) を再合成する必要がある。( 38 ) 的に ATP を再合成する能力に優れているのは ( 39 ) 線維である。

様々な運動の動作を分析する力学原理は、( 40 ) の力学を中心としている。ここで扱われる運動3法則により、力学的に妥当な因果関係としてデータを解釈できる。

|           |           |             |            |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| ア. 小胞体    | イ. サルコペニア | ウ. サルコメア    | エ. サルコレンマ  |
| オ. リボソーム  | カ. ミオシン   | キ. アクチン     | ク. コラーゲン   |
| ケ. 等張性    | コ. 等耐性    | サ. 等尺性      | シ. 等速性     |
| ス. 短縮性    | セ. 伸張性    | ソ. 間脳       | タ. 小脳      |
| チ. 脳幹網様体  | ツ. 延髄     | テ. 脊椎       | ト. 脊髄      |
| ナ. 特殊感覚   | ニ. 固有感覚   | ヌ. 内部環境     | ネ. 筋紡錘     |
| ノ. 有酸素    | ハ. 無酸素    | ヒ. 耐糖能      | フ. 遅筋      |
| ヘ. 速筋     | ホ. 中間筋    | マ. ニュートン    | ミ. キネマティクス |
| ム. リモデリング | メ. コペルニクス | モ. シュレディンガー |            |

V.

各設問の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

スポーツコーチングは、（ 41 ）を高めることだけで目的達成とは考えにくく、それぞれのスポーツ種目の歴史や支援者・応援などの環境すべてを好転するためのシステムを構築することが求められます。そのため、アスリートに対して個々の技能や技術を高めることやスポーツに対する理解や周囲との共存のための学習をすることで、（ 42 ）思考を植えつける必要があるのです。

|        |           |           |        |
|--------|-----------|-----------|--------|
| ア. 論理的 | イ. プラス    | ウ. スポーツ技術 | エ. やる気 |
| オ. 人間性 | カ. スポーツ成果 | キ. マイナス   | ク. モラル |

【問題2】

アスリートを取り巻く環境を整備するのもコーチの重要な役割の一つです。監督やコーチなどの指導スタッフ、選手の強化・育成や新人選手の（ 43 ）などのことで、有用な人材とのかかわりを作ることが大切です。対象となる選手の（ 44 ）に対する指導者の人数、指導内容に応じた適切なスタッフの配置などがこれにあたります。また、優秀な資質を持つ選手を見出し、（ 43 ）によって自チームを強化・活性化させ、より発展的に成長させていくこともコーチの役割に含まれます。

|            |        |       |       |
|------------|--------|-------|-------|
| ア. 選考      | イ. 技術力 | ウ. 資金 | エ. 体力 |
| オ. スカウティング | カ. 育成  | キ. 人数 | ク. 強化 |

【問題3】

スポーツ技術を把握する方法には大きく分けて2つの方法があります。その内の1つは、客観的な情報を収集する方法です。客観的な情報には眼でみて把握できるものから、速度や角度、関節で発揮された力といった数値も含まれます。眼でみて運動の特徴を把握しようとする分析は「（ 45 ）分析」と呼ばれます。一方で細かな数値を算出するためには「（ 46 ）分析」が必要です。

|        |         |         |               |
|--------|---------|---------|---------------|
| ア. こつの | イ. 印象   | ウ. 客観的な | エ. バイオメカニクスのな |
| オ. 映像  | カ. 統計的な | キ. 主観的な | ク. インタビュー     |

【問題4】

相手チームの優位を妨げる戦術：相手チームの優位を妨げリズムを与えない、( 47 ) を出させないという戦術です。例えば、バスケットボールでは、相手チームの中心プレーヤーにボールを持たせない、もしくはゲームプラン外のプレーヤーに攻撃させるように仕掛けるなどがあります。成果として( 48 ) がたまる、その結果、自らのリズムが狂う、シュートが入らないということが起こる可能性が高くなるという戦術です。

- |              |         |       |         |
|--------------|---------|-------|---------|
| ア. 乳酸        | イ. 短所   | ウ. 長所 | エ. 疲労   |
| オ. フラストレーション | カ. スピード | キ. ミス | ク. シュート |

【問題5】

トレーニング実施に当たっては、能力や環境も個人によって異なり、初めから完璧なトレーニングを実施することは難しく、トレーニングの内容そのものが合っているかを確認していく必要があります。そこで、計画をまず実行すること、次にその成果を( 49 ) して、よかった(効果のあった)点を蓄積し、悪かった(効果の無かった)点は改善して、新たなトレーニングを計画していくという( 50 ) サイクルを機能させることで、「ムリ、ムラ、ムダ」を省いたトレーニングとなるでしょう。

- |         |        |        |       |
|---------|--------|--------|-------|
| ア. PDCA | イ. 改善  | ウ. TCA | エ. 論理 |
| オ. 測定   | カ. PFI | キ. テスト | ク. 評価 |

2022年度 修士課程  
入学試験(秋期)  
解答用紙[一般]

|      |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |  |
| 氏名   |  |  |  |  |  |

※欄は記入しないで下さい。

|   |     |     |     |     |      |
|---|-----|-----|-----|-----|------|
| I | (1) | (2) | (3) | (4) | (5)  |
|   | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) |

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|    |      |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|------|
| II | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) |
|    | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) |

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|     |      |      |      |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|
| III | (21) | (22) | (23) | (24) | (25) |
|     | (26) | (27) | (28) | (29) | (30) |

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|    |      |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|------|
| IV | (31) | (32) | (33) | (34) | (35) |
|    | (36) | (37) | (38) | (39) | (40) |

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|   |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|
| V | (41) | (42) | (43) | (44) | (45) |
|   | (46) | (47) | (48) | (49) | (50) |

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|   |
|---|
| ※ |
|---|